

雄武中だより

【重点目標】自ら考え行動し、新たな学びに向かう力を高める生徒の育成

学校HP <https://oumuschoolweb.ne.jp/O120012> →



5月号

令和8年5月29日(金)

発行：雄武町立雄武中学校

電話：(0158)-84-2529

ウェルビーイングの向上を目指して

雄武町立雄武中学校長 辻 正 樹

教育基本法の理念を実現するため、第4期教育振興基本計画が示されています。この計画では、「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」という2つのコンセプトが掲げられています。

ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良好な状態を指し、短期的な幸福だけでなく、生きがいや人生の意義といった将来にわたる持続的な幸福を含む概念です。多様な個人がそれぞれに幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会全体が幸せや豊かさを感じられる状態も含む包括的な考え方です。

また、日本社会に根差したウェルビーイングの要素として、「幸福感」「学校や地域とのつながり」「協働性」「利他性」「多様性への理解」「サポートを受けられる環境」「社会貢献意識」「自己肯定感」「自己実現」「心身の健康」「安全・安心な環境」などが挙げられており、教育活動全体を通じてウェルビーイングを高めていくことが求められています。

人は皆異なります。興味・関心、得手・不得手、育ってきた環境、性格や価値観も異なります。個と個の関わり、個と集団（学級・社会など）との関わりなど、自分が置かれている立場や環境によって、考え方や受け取り方も変わってきます。その中で、「お互いを尊重する」、「お互いを認め合う」ことが大切であり、「人は全員違う」という前提のもと、すべての違いをもつ人々が参画できるインクルーシブな社会を創っていかねばなりません。

本校の生徒には、さまざまな活動を通して、教育振興基本計画の2つのコンセプトにつながる資質として、「最後まで粘り強く取り組む姿勢」「友だちへの思いやり」「主体性やリーダーシップ」「多様性への理解」など、多くの良さが育まれています。これからも多様な経験を積み重ねる中で、感性を磨き、人間性を高め、それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会の幸せや豊かさにも寄与できる社会の創り手へと成長していくことを期待しています。

子どもたちを地域でしっかりと支え、家庭であたたかく育み、学校がその力を伸ばす。すべての子どもたちの可能性を引き出すため、「地域・家庭・学校」が連携・協力し、一体となって子どもたちの将来の幸せを願い、成長をともに支えていきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

